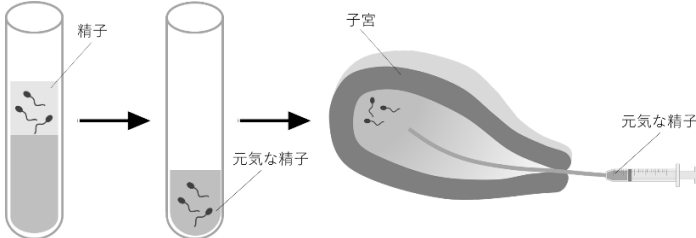


人工授精について

1. どんな治療？

人工授精(正式名:配偶者間人工授精)とは、体外に排出された精子を採取し、運動性の高い精子を濃縮させた精液を子宮内に直接注入する治療です。日本では、1940年代から行われており、女性の体内で受精させる自然に近い不妊治療です。一般的に、妊娠率は5～10%と言われています。

また、この治療による胎児への影響は全くありません。



2. 適応は？

- ・精液検査で、所見が悪かった方
- ・性交障害のある方
- ・原因不明の不妊症で、自然妊娠やタイミング法では妊娠が成立しない方

※排卵障害など女性にも不妊の原因がある場合、人工授精は奏功しない場合があります。

3. 保険適応になる？

2022年4月から人工授精は保険診療が適応となりました。人工授精に年齢制限や回数制限はありません。ただし、自費診療にて不妊治療中の方は、保険診療ができません。(自費診療と保険診療の混合診療は日本では認められていません。)

費用は、保険診療の適応となり人工授精代は 5,460 円(3割負担の場合)となります。

4. 事実婚の場合でも治療ができる？

事実婚の場合も、保険診療の人工授精を受けることはできます。ただし、法律婚の夫婦と異なり、以下の条件すべてを満たす必要があります。

- ① 同一世帯である ②互いに配偶者がいない ③治療によって出生した児を認知する意向がある

※パートナー二人分、2通の戸籍謄本の提出が必要となります。(法律婚のご夫婦は1通)

5. 凍結精子やドナー精子は使用できる？

当院では凍結精子やドナー精子の取り扱いはありません。予めご了承ください。

6. 人工授精でも妊娠が成立しない場合は？

次の治療は体外受精(精子、卵子ともに採取し、体外で受精させ、受精卵を子宮内に注入する治療)となります。人工授精で妊娠した方の80～90%は、3～4回の治療で妊娠しています。それ以上行っても妊娠が成立しない方は、体外受精まで行わないと妊娠ができない可能性が考えられます。

7. どのような治療の流れになる？

このパンフレットを読んで頂いた上で、ご夫婦ともに人工授精を希望される場合は、お電話にて、次回の予約してください。

今後の治療スケジュールは以下ようになります。治療スケジュールは個人差がありますので、あくまで目安になります。

☆注意事項☆必ずお読みください。

- ・各回での提出書類はお忘れなくお持ちください。忘れた場合、治療が受けられないことがあります。
- ・所要時間はあくまで目安となります。待ち時間は当日の混雑状況や検査結果判定にかかる時間により大きく変わります。また、遅刻された場合は診療が前後します。予めご了承ください。
- ・記載された費用は法改定などにより予告なく変更となる場合があります。

① 初回受診:

ご夫婦ともに受診してください。月経周期はいつでも構いません。お子様は同席できません。

2回目以降の人工授精の場合は、この受診は必須ではありません。ただし、必要書類やお渡しする書類は同様に必要になります。感染症採血も2回目以降は不要です。

診察の流れ	① 医師から治療説明があります。 ② 血液検査:ご夫婦ともに感染症の採血を行います。感染症以外に必要な採血項目があれば一緒に検査します。結果は次回お渡しします。
提出書類	・このパンフレット ・保険証(マイナンバーカード)(忘れた場合は治療ができません。) ・3か月以内に発行された戸籍謄本(忘れた場合は治療ができません。)
必要費用	診察料(初診か再診かで異なります)+感染症検査代+その他(必要時)
お渡しするもの	人工授精説明書(コピー)、人工授精同意書(治療ごと発行)、一般不妊治療計画書(3か月ごと発行)、基礎体温表(お持ちでない方)、不妊治療に関わる検査の委任状(これまで未提出の場合)

② 2回目の受診:月経3-5日目

女性のみの受診でも構いません。月経が来たらお電話で予約してください。

男性の検査結果を代理で女性が聞く場合は、男性の受付のみ必要となります(男性本人は不在でも構いません)。

診察の流れ	① 血液検査:ホルモン検査を行います。結果が出たら診察となります。結果が出るまで、20-30分程度かかりますので、診察予約時間の30分前までに採血を済ませておいてください。 ② 医師診察、経腔超音波検査、採血結果説明:人工授精に適した周期か確認します。場合によっては排卵誘発薬が処方されます。
提出書類	□人工授精同意書(忘れた場合は治療ができません。) □一般不妊治療計画書(忘れた場合は治療ができません。) □委任状:当日受診者以外の検査結果を、当日受診者が代理で聞く場合は委任状が必要となります。忘れた場合は、ご本人以外の検査結果はお伝え出来ません。 □基礎体温表
必要費用	再診料(男女とも)+超音波検査代+血液検査代+一般不妊治療管理料+その他(必要時)
お渡しするもの	血液検査結果、提出された書類のコピー(原本は当院で保管となります)

③ 3回目の受診:月経12-14日前後

女性のための受診でも構いません。2回目の診察時に医師から受診日が指定されます。

指定日の受診が困難な場合は、人工授精ができない場合があります。

診察の流れ	① 血液検査:ホルモン検査を行います。結果が出たら診察となります。結果が出るまで20-30分程度かかりますので、診察予約時間の30分前までに採血を済ませておいてください。 ② 医師診察、経腔超音波検査、採血結果説明:診察結果により人工授精の日程を決めます。結果によっては再度診察が必要となることもあります。 ③ 看護師より人工授精当日の説明を行います。
提出書類	<input type="checkbox"/> 基礎体温表 <input type="checkbox"/> このパンフレット:人工授精当日の説明を行います。
必要費用	再診料+超音波検査代+血液検査代+その他(必要時)
お渡しするもの	精液採取容器、精液検体ラベル、精液検体の説明書、精液検査の代理同意書(人工授精当日男性が受診できない場合)

④ 人工授精当日:

前回受診時に医師から受診日が指定されます。予約枠は、精液提出枠(10:00枠 男性)と人工授精枠(12:00枠 女性)の二つを予約してください。

精液は自宅で採取したものを持参して頂きますが、できるだけ男性本人が精液を提出するようにしてください。やむを得ず、女性が代理で精液を提出される場合は、同意書が必要となります。

診察の流れ	① 10:00に精液を受付に提出してください。:必ず自署で記名したラベルを添付してください(採取精液のご本人以外の署名は無効です。ラベルが添付されていない検体はお受けできません。) ② 提出された精液を調整し、濃縮します。2時間程度かかります。 ③ 医師診察、経腔超音波検査:人工授精の意思を確認の上、人工授精が可能な状態か診察にて確認します。 ④ 人工授精:通常の内診室にて行います。 ⑤ 排卵していない場合は、ホルモン注射を行うことがあります。
提出書類	<input type="checkbox"/> 精液の代理同意書(忘れた場合は治療ができません。)
必要費用	再診料(男女とも)+超音波検査代+人工授精代+その他(必要時)
所要時間	午前中いっぱいかかります
お渡しするもの	精液の代理同意書のコピー(提出された場合)

★人工授精から2週間経っても月経が来ない場合は、ご自身で妊娠反応検査薬を使用し、妊娠の有無を確認してください。陽性の場合、お電話で外来を予約してください(当院以外でも構いません)。

★次回も人工授精を希望される場合、再度同意書が必要になりますので外来を予約してください。説明は省略することができます。その場合も同意書は新しいものが必要となりますので、外来を受診してください。(女性のための受診でも構いません。)

★人工授精は1日1件のみとなるため、治療が重なった場合延期となる可能性があります。